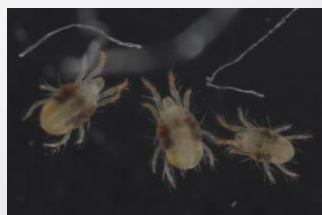


# ピュアオー・テクノロジーによる 防虫技術

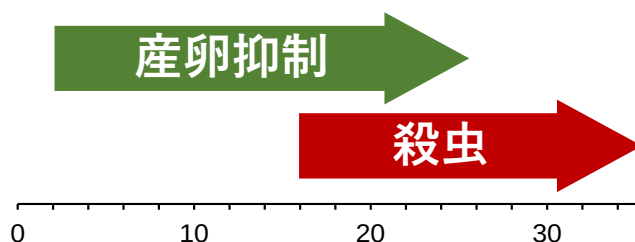
ORC

ピュアオー・テクノロジーによって生成した高濃度オゾンは、防カビ・防虫にも応用が可能です。この防虫技術について、衛生、農業分野での応用例を紹介します。



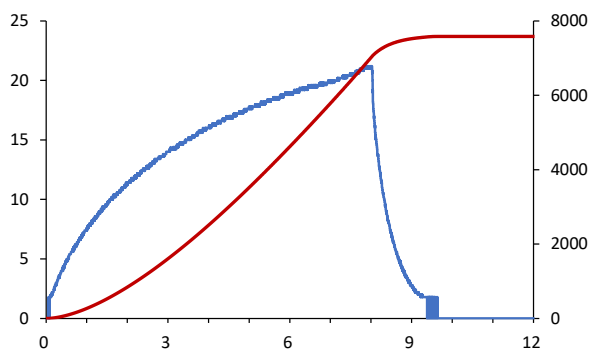
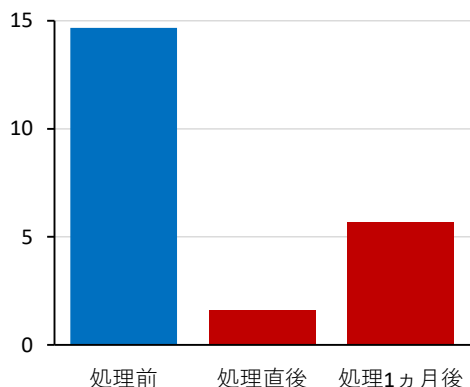
## ピュアオー・テクノロジーによる防虫技術

### ①オゾンガスによる産卵抑制効果と殺虫効果によってチャタテムシの増殖を抑制します。※



※第35回日本ペストロジー学会富山大会。オゾンガス処理時間は6時間として、オゾン濃度を0～30 ppmまで変えて処理を行った。10個体／反復で処理区ごとに6反復実施したデータを基に7日間の累積産卵数と死亡率を算出した。

### ②製品を用いた実証試験より、室内のコナダニ数の減少効果が確認できました。



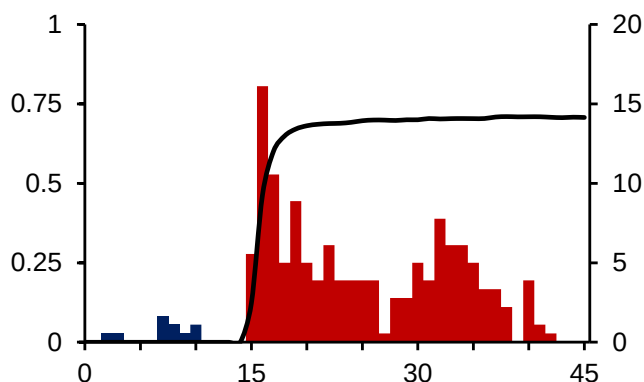
※密閉した室内にて、ARV-O3MEのプログラムにより、オゾン発生8時間した。発生後、分解モードを4時間稼働させた。コナダニは、ろ紙(φ90 mm)に水と乾燥酵母を適量加え、2つ折りにしたものをトラップとして、24時間設置した。トラップは回収後、チャック付きポリ袋に入れて密封し、冷凍庫にて一晚以上保管した後に、実態顕微鏡下で捕獲数をカウントした。

### ③オゾンガスはゴキブリへの忌避行動を引き起こします。

オゾン処理前と処理中の10分間の歩行経路

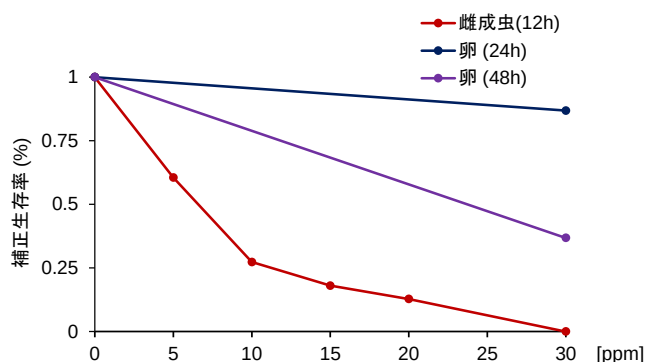
オゾン処理前

オゾン処理中



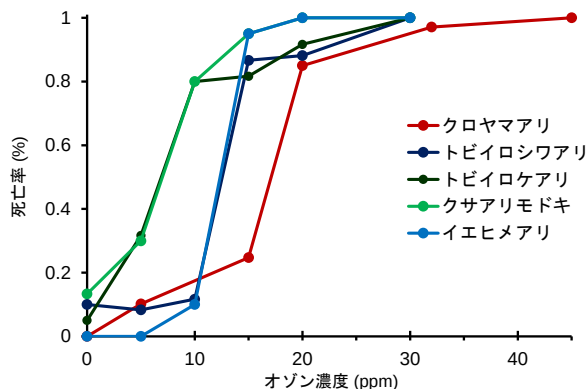
※密閉容器内に供試虫を設置した後、処理前は大気を、処理後はオゾンガスを導入した。密閉容器上部に固定したデジタルカメラを用いて、それぞれの処理中の移動の有無を観察し、1分毎の歩行頻度を算出した。

### ④農薬の使用回数削減を目的として、ハダニへの殺ダニ効果を明らかにしました。※



※リーフディスクに設置したハダニを用いて、オゾン濃度0～30 ppm、処理時間12～48 hの範囲でオゾン処理を行った。生存率は無処理区のデータを基に補正した。

### ⑤オゾンガスはアリ類へも殺虫効果があり、コンテナ内や室内に発生したアリ類の防除への利用が期待できます※



※オゾンガス処理時間は24時間として、オゾン濃度を0～45 ppmまで変えて処理を行った。10個体／反復で処理区ごとに6反復実施したデータを基に死亡率を算出した。

光の技術で未来をつなぐ

**株式会社 オーク製作所**

本社/ 〒194-0295 東京都町田市小山ヶ丘3-9-6

諏訪工場/ 〒391-0011 長野県茅野市玉川4896番地

日の出工場/ 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井28-5

大阪営業所/ 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町41-14榎原ビル

TEL: 042-798-5131 FAX: 042-798-5135

TEL: 0266-72-3956 FAX: 0266-73-5816

TEL: 042-597-4398 FAX: 042-597-5862

TEL: 06-6386-0731 FAX: 06-6386-0757

製品については下記までお問い合わせください。

諏訪工場 研究開発部

〒391-0011 長野県茅野市玉川4896番地

TEL: 0266-73-8340 FAX: 0266-73-8344

E-mail: lamp-devp@orc.co.jp